

第2回 小金井市産業振興プラン策定委員会

日時：令和7年8月20日（水）

午後6時00分から

場所：婦人会館2階集会室AB

次 第

1 開会

2 議題

- (1) 小金井市に関する統計整理について
- (2) 新プランに係る具体的な取組の検討について
- (3) 市民アンケート結果（速報）について

3 その他

4 閉会

【配布資料】

- ・ 会議次第
- ・ 小金井市に関する統計整理（資料1）
- ・ 市民アンケート結果（速報）（資料2）

小金井市に関する統計整理

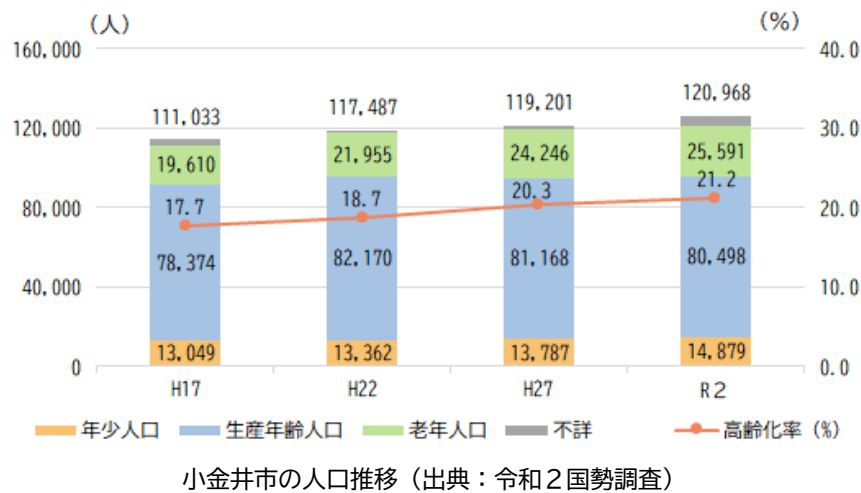
委員会での議論の素地として人口、就労、産業の基礎的な統計情報を取りまとめる。（今後の協議に応じて適宜詳細検討を加える。）

■人口に関する統計情報

人口推移

○小金井市の人口は増加傾向にあり、令和２年国勢調査では約 12.1 万人となっている。最新（令和 7 年 8 月）の住民基本台帳によると人口は約 12.6 万人であるため、現在も増加傾向にあると言える。

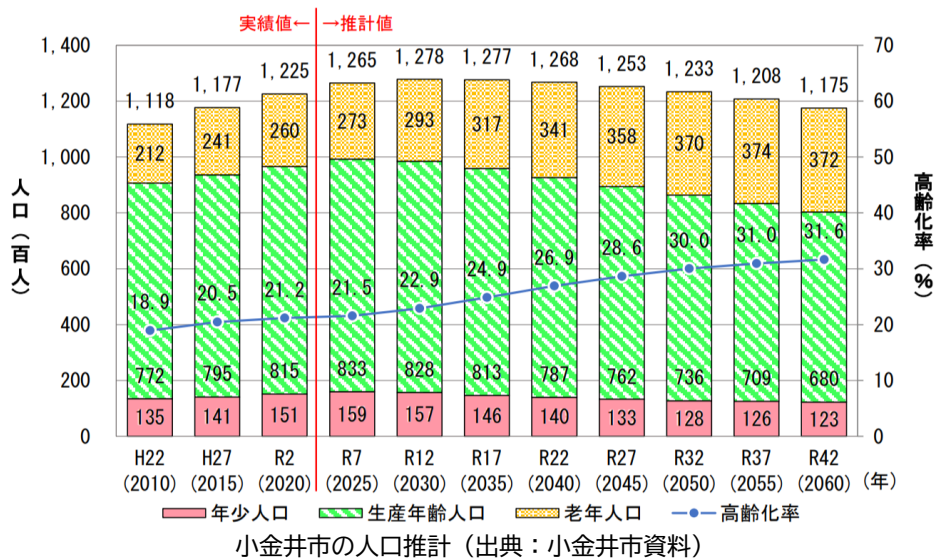
○高齢化率（65歳以上の人口の割合）は増加しているものの令和2年段階で21.2%であり、令和7年8月現在の住民基本台帳に基づいて計算した高齢化率(21.7%)も同程度である。



人口推計

○今後の小金井市の人口は、令和 12～17 年をピークとして減少をするものの、令和 42 年においても 10 万人を維持していると推計されている。

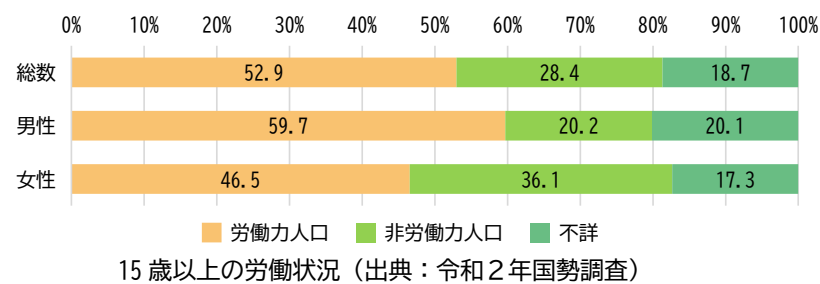
○ただし、高齢化率は増加し続け、本計画の計画期間終了時である令和12年には22.9%であるが、令和32年には30%を上回る。



■就労に関する統計情報

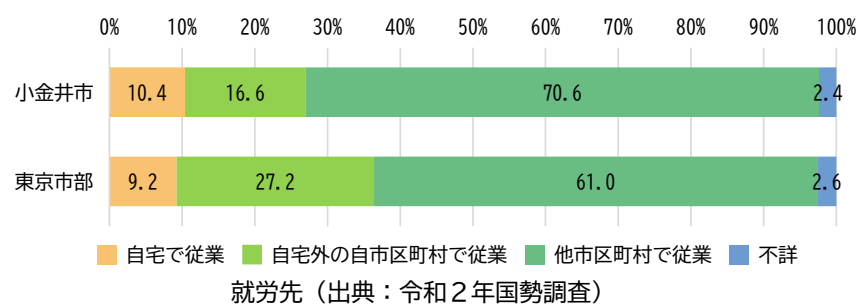
就劳状况

○15 歳以上の 52.9%が就労している。女性については 36.1%が就労していない。



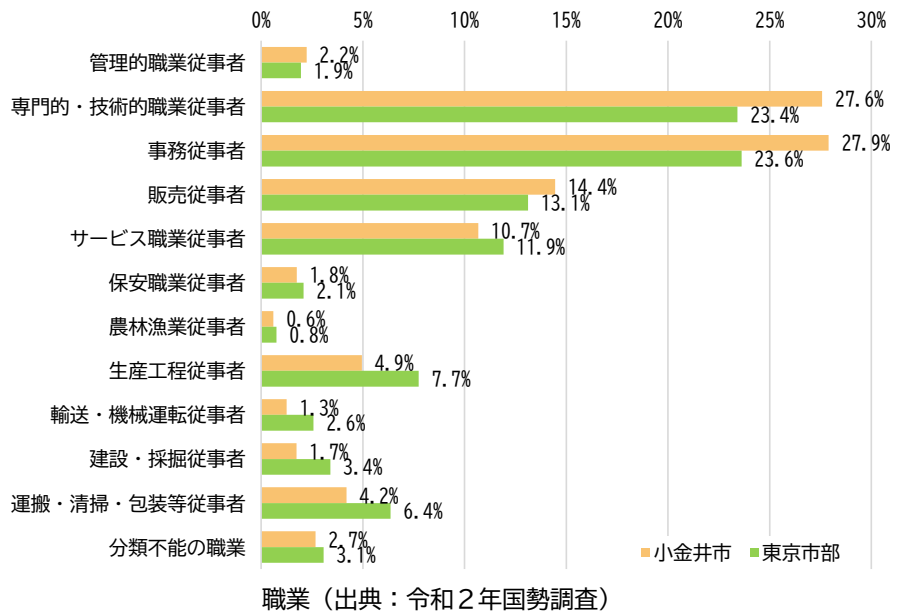
就劳先

○就労先は他市区町村が 70.6%を占めており、東京市部と比較して市内で仕事をする人は少ない。



職業

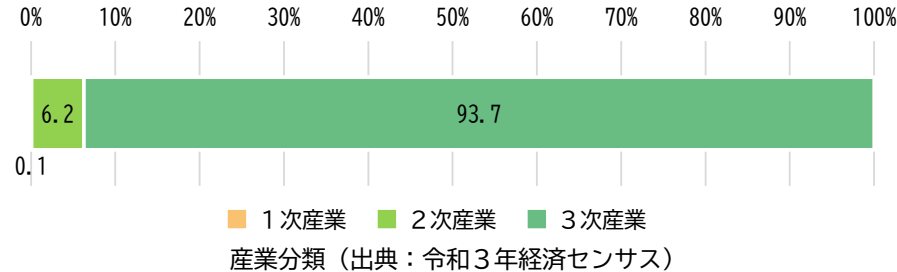
○小金井市民の職業は、東京市部と比較して、専門的・技術的職業従事者と事務従事者が多く、生産工程従業者などの二次産業従事者が少ない。



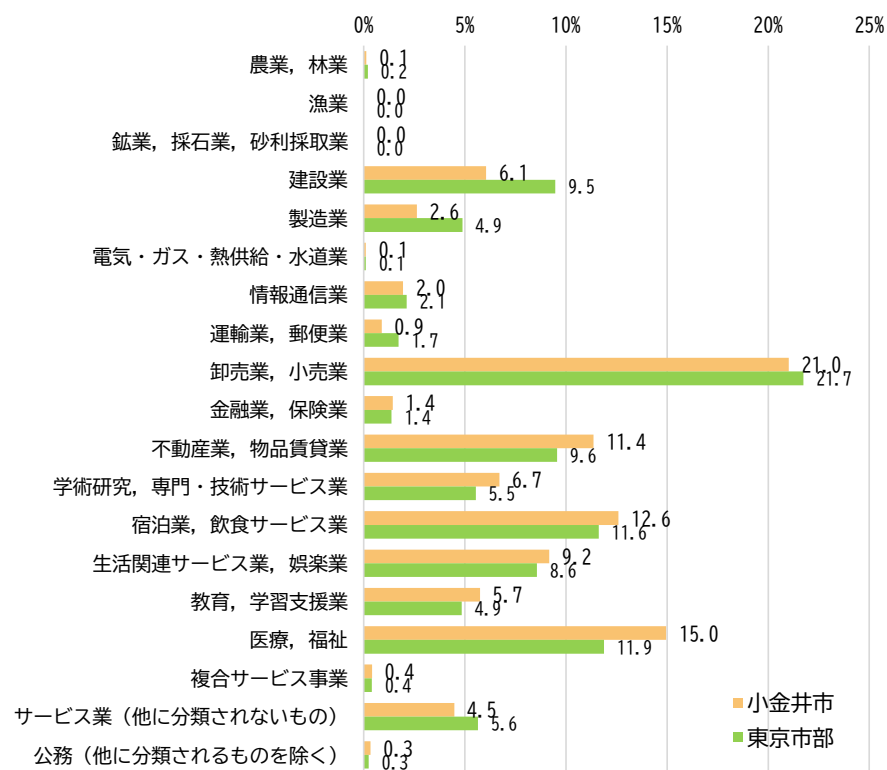
■産業に関する統計情報

産業分類

○市内事業所の 93.7%が 3 次産業である。

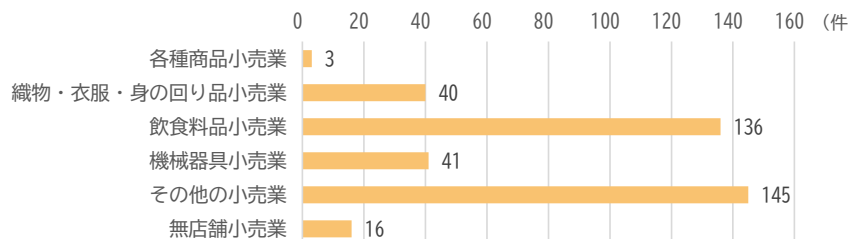


○事業所数を東京市部と比較しても建設業、製造業（２次産業）が占める割合が少ない。一方、３次産業はおおむね同様の傾向である。



産業別事業所数（出典：令和3年経済センサス）

○小売業事業所は 381 件であり、売り場面積は 61,423 m² (161.2 m²/件)である。年間小売業販売額は 685 億円 (1.8 億円/件)である。



小売業種別事業所数（出典：令和3年経済センサス）

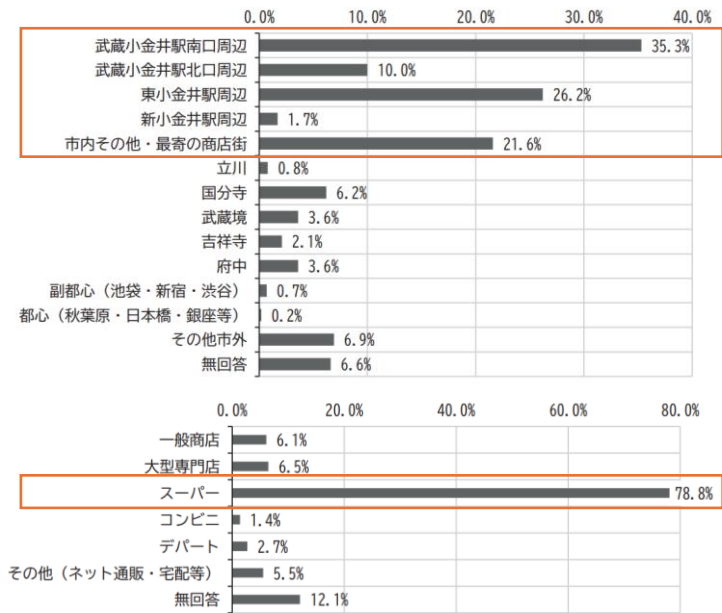
小金井市商業・工業基礎調査にみる市民の購買行動

委員会での議論の素地として小金井市商業・工業基礎調査より特に購買行動に関する情報をとりまとめる。（今後の協議に応じて適宜詳細検討を加える。事業所の実態については次回報告予定。）

■買い物をする場所

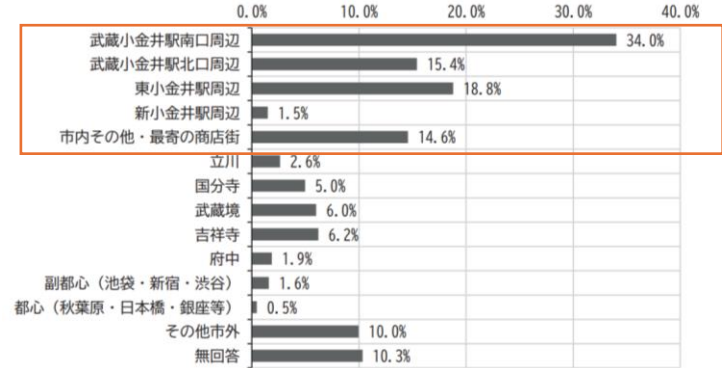
生鮮産品

○生鮮産品については多くが市内のスーパーにて買い物をしている。



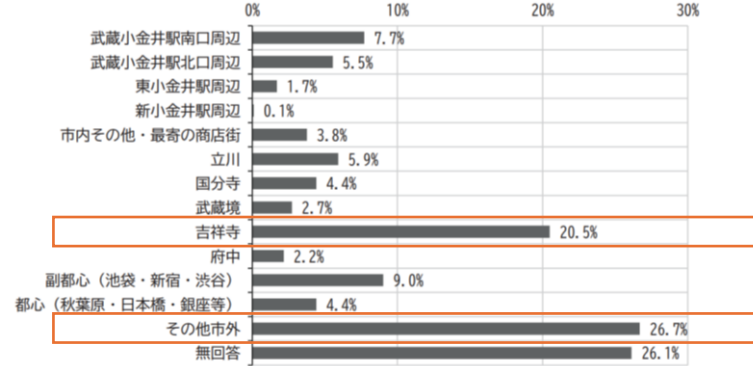
日用品

○日用品も同様に市内にて購入されている。購入先は大型専門店とスーパーである。



趣味的なもの

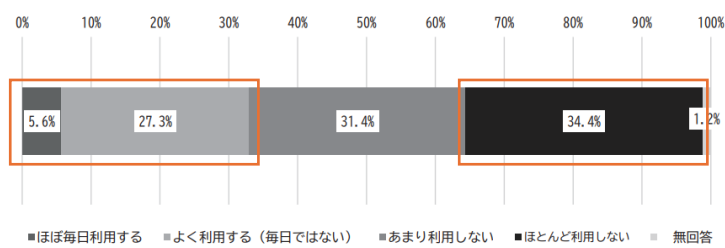
○一方で趣味的なものについては吉祥寺をはじめ市外にて購入されている。



■商店街の利用

日常的な利用

○商店街の利用については「ほぼ毎日利用する」「よく利用する（毎日ではない）」の合計が 32.9%であり、3 人に 1 人は頻繁に利用している。一方、3 人に 1 人はほとんど利用していない。

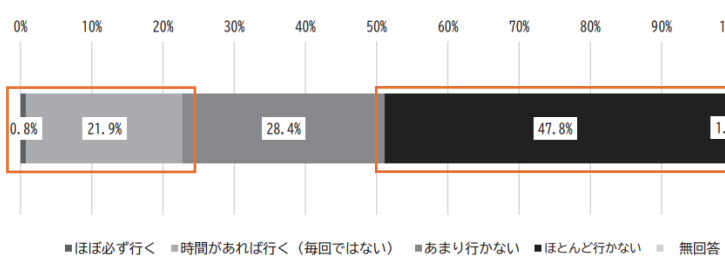


○商店街利用者へのヒアリングでは、武蔵小金井駅周辺であればイトーヨーカドーやドン・キホーテのようなチェーン店の利用が多く、東小金井駅では nonowa に入居する店舗の利用が見られる。

イベントの参加

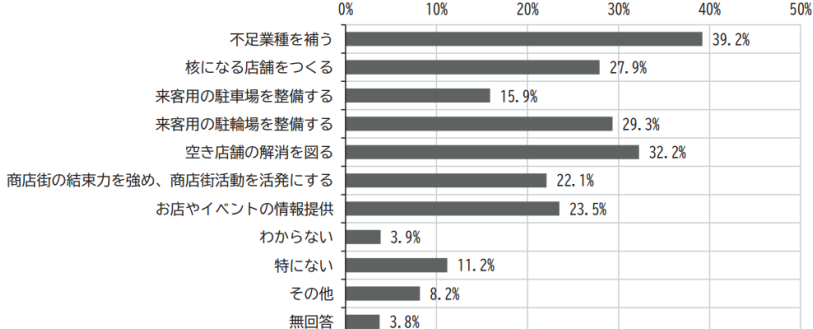
○商店街のイベントの参加については、「ほぼ必ず行く」「時間があれば行く（毎回ではない）」の合計が 22.7%で、4 人に 1 人の参加が見られる。

○一方、「ほとんど行かない」が 47.8%となっており、利用はするもののイベントには参加しないという層がいることが伺える。



商店街に対する期待

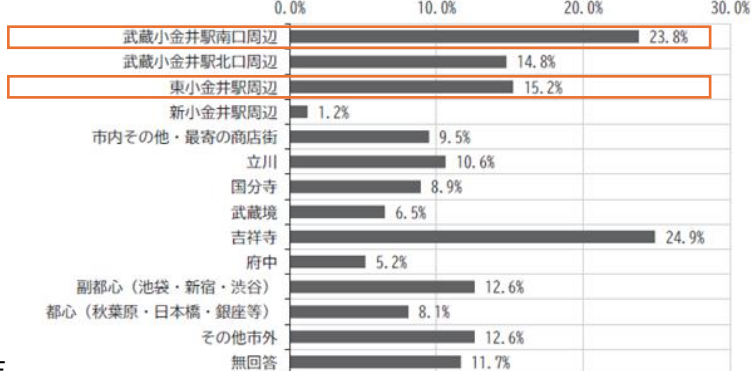
○商店街に対する期待については、「不足業種を補う」(39.2%)、「空き店舗の解消を図る」(32.2%)、「来客用の駐輪場を整備する」(29.3%)、「核になる店舗をつくる」(27.9%)が多い。



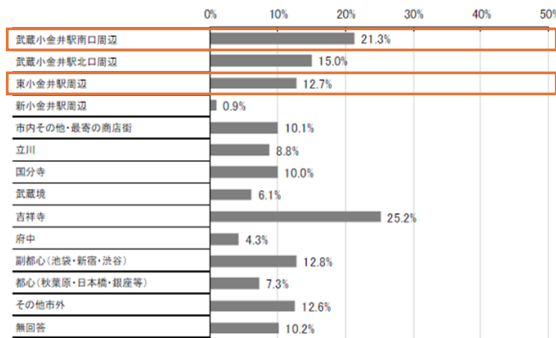
■飲食をする場所

○飲食をする場所については、吉祥寺が最も多いが、武蔵小金井駅南口も同程度である。令和 2 年と比較すると、吉祥寺はほぼ同数だが、武蔵小金井駅南口は 1.5 ポイント増加している。

○東小金井駅周辺も 15.2%で、令和 2 年と比較すると 2.5 ポイント増加している。



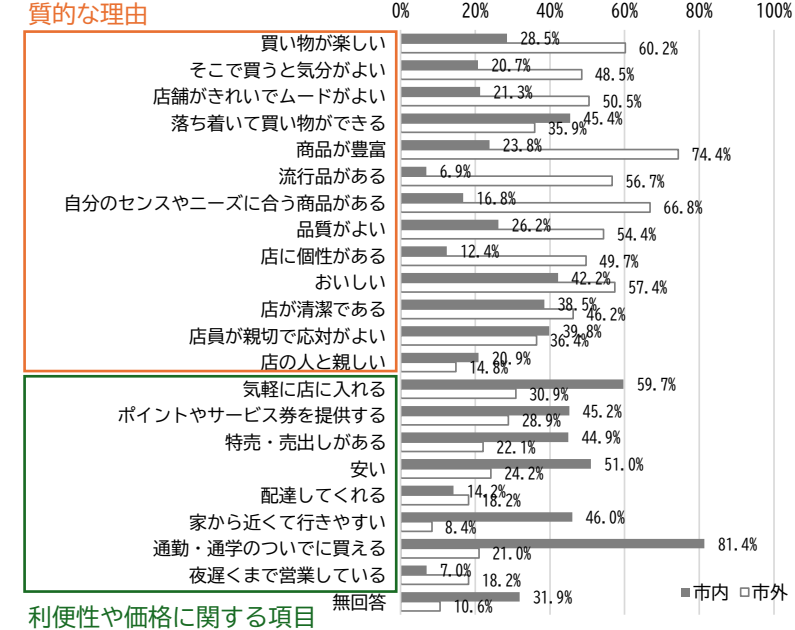
令和 6 年



令和元年

■市内外で買い物・飲食をする理由

○市内で買い物をする理由が利便性や価格にかかわっている傾向があるのに対して、市外では質的な理由が優位である。



市民アンケート結果（速報）

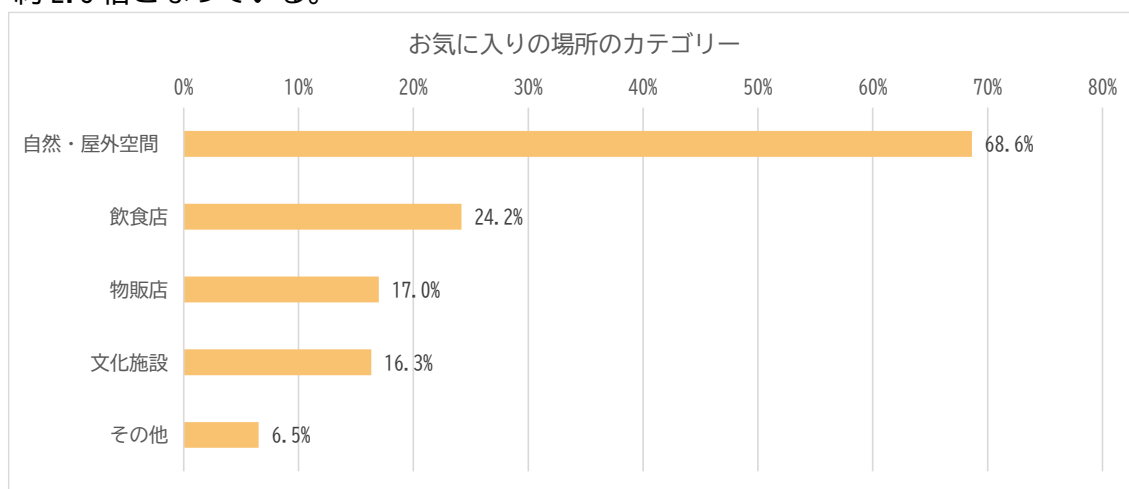
1. アンケート概要

- 目的：人々が交流する場所や、賑わい創出事業への参加・参画意向を把握する
- 対象：18歳以上の市民1,200名
- 期間：令和7年7月25日～8月8日
- 回収数：158人（回収率：13.2%）

2. 集計結果

1) お気に入りの場所

○市内でのお気に入りの場所は自然・屋外空間が68.8%で最も多く、飲食店（24.2%）の約2.5倍となっている。



○お気に入りの場所を具体的にみると、小金井公園（39件）、野川公園（15件）、野川（13件）、武蔵野公園（11件）が多く回答されている。（野川には「はけの道」が含まれている。）

○飲食店・物販店に分類されるお気に入りの場所は次頁のとおりであり、比較的チェーン店よりも個店が多い傾向にあると言える。

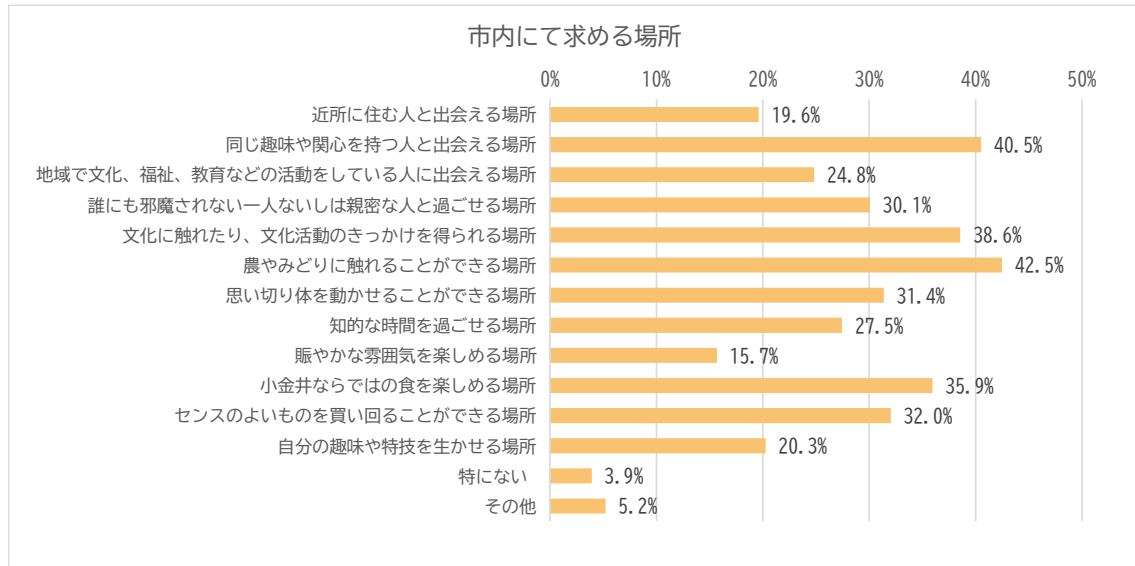
飲食店	物販店
キニョン武蔵小金井ののみち店	dogdeco HOME
epic bakehouse	Feri
HANCOOK	LES ALTERNATIVES
Homer	OKストア武蔵小金井店
KEN コーヒー&パブ	アルタナティヴ
La Buona Tavola 美月	イトーヨーカドー武蔵小金井店
Patisserie Boulangerie Les Alternatives	ささき（京寿司）
Reminisce bakery	ドン・キホーテ武蔵小金井店
upon NASH	フードウェイ
アルタナティヴ	ほ・うら（花屋）
イトーヨーカドーのフードコート	むさこの森クリニック
ガトーシュクレ	メガドンキ
かぶとパン・かぶとめし	宮地楽器小金井ショールーム
かも kyu	村田水産
スターバックス	東小金井高架下ゾーン
スターバックス東小金井店	無人の野菜販売所
ドトール	洋菓子ポルシェ
にしむら家あかり亭	理容室 白虎
ホームー	和菓子きしだや
マック	珈琲や東小金井工房
ワイズマンコーヒー	
一清	
岳志	
韓国村	
菊寿司	
幸寿司	
星乃珈琲店ソクラクロス店	
銚子丸武蔵小金井店	
定食屋 白	
武蔵小金井のヨーカドーのサンマルクカフェ	

※重複する回答は集約している。

※回答いただいたとおりに記載している。

2) 市内にてあったらいいと思う場所

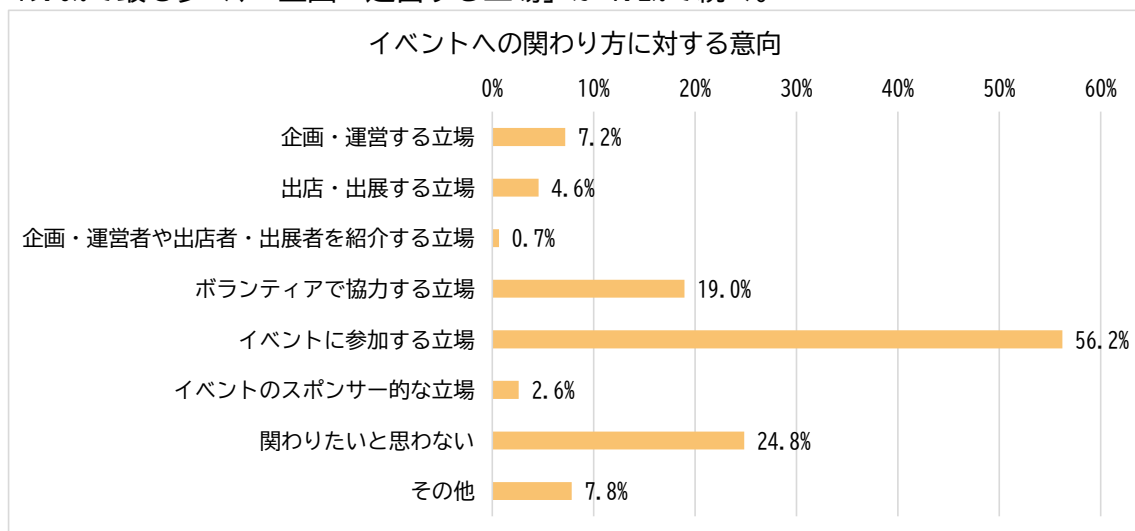
○市内にて求める場所を尋ねたところ、「農やみどりに触れることができる場所」が42.5%で最も多く、次いで「同じ趣味や関心を持つ人と出会える場所」(40.5%)、「文化に触れたり、文化活動のきっかけを得られる場所」(38.6%)が続く。



3) イベントへの参加意向

○賑わい創出を目的としたイベントへの参加意向を尋ねたところ、「イベントに参加する立場」が56.2%で最も多いが、「関わりたいと思わない」が24.8%である。

○何らかのかかわりを持ちたいという意向については、「ボランティアで協力する立場」が19.0%で最も多く、「企画・運営する立場」が7.2%が続く。



4) 回答者の属性

